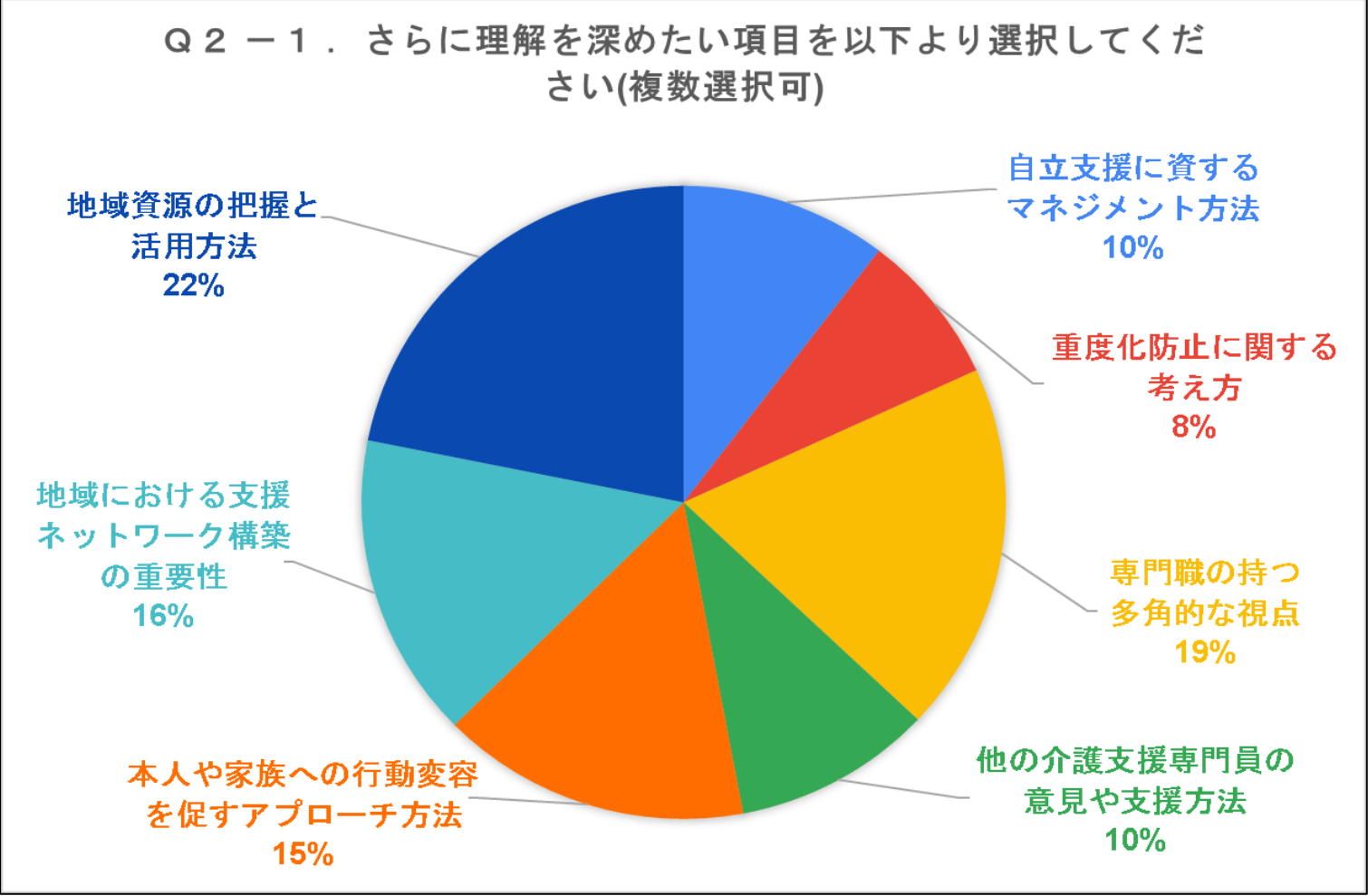
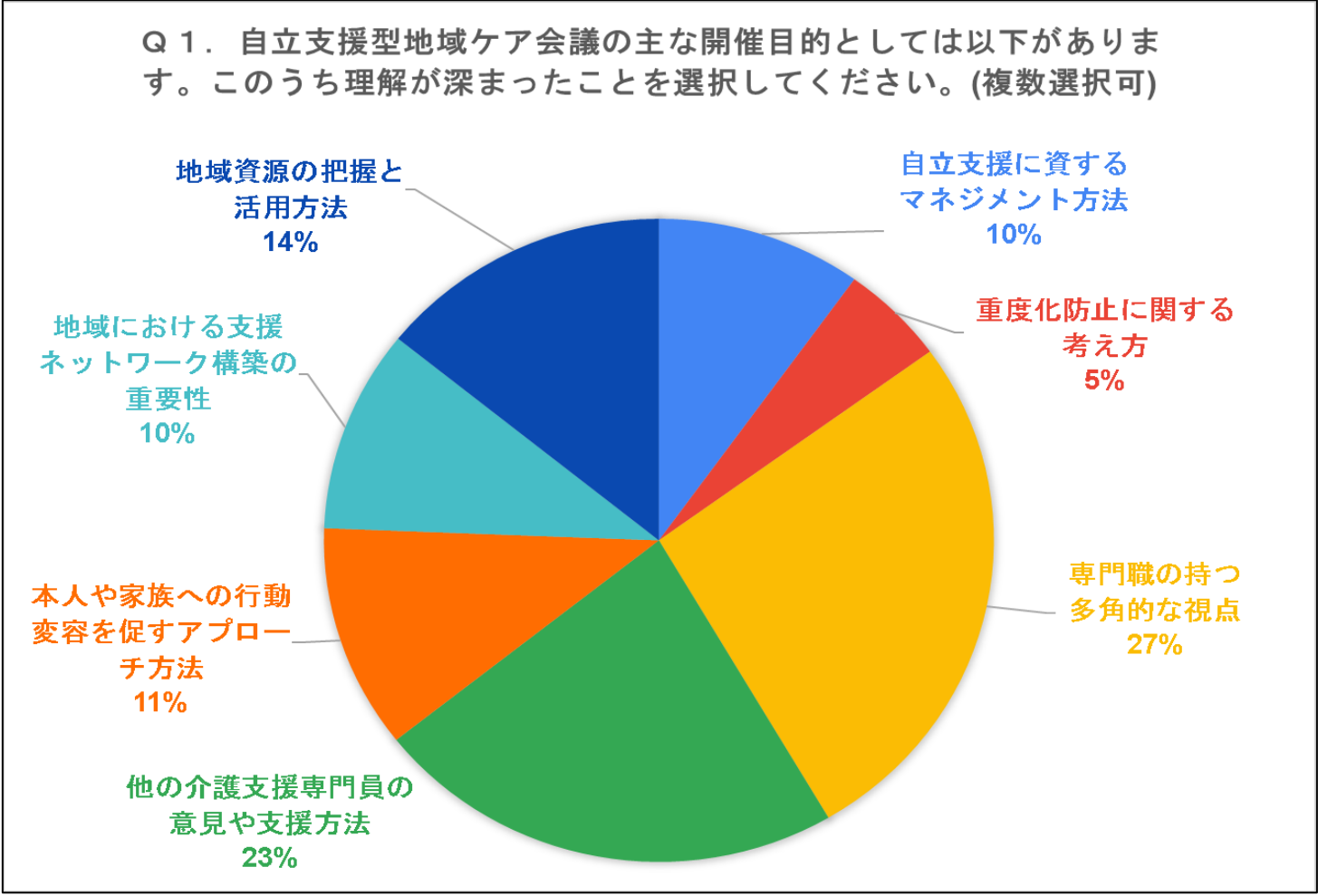


令和7年度上半期 自立支援型地域ケア会議 アンケートまとめ



Q 2-2. Q2-1で選択した理解を深めたいと思った理由をご記入ください。

- ・新規事例では特に視覚障害の方を対象にした支援だったので、私自身情報を持っておらず具体的な活用方法についても学ばせていただいたので、自分からもっと情報収集していかなければと感じたため。
- ・画一的な介護サービスだけでなく「地域資源」を知ることで提供できる選択肢がかなり広がったと思ったため。
- ・高齢者の方々の中には介護認定を受け生活に多少の支障はあれど自分で何かを成し遂げたいと感じている方が多く、その方達へサービスのみではなく自己実現できる環境等を発信できるよう知識を深めたいと思ったため。
- ・日々の業務の中で利用者や家族への行動変容を起こさせる事が出来ずに結果的に重度化していくという事がある為、行動変容を促すアプローチ法を学びたいと思ったため。
- ・自立支援型地域ケア会議に参加し改めて「ひとりによる支援の限界」と「多職種による対話の重要性」を深く実感した。ケアマネジャーが単独で対応するには視点・情報量・心理的負担などさまざまな制約があると感じているため、定期的に行われる自立支援型地域ケア会議に参加し多職種との協働を通じて本人理解を深め、支援の方向性の幅を広げていきたいと感じたため。
- ・事例対象者に対して視点が違うと課題の見え方が違い、職種が違えばと課題と感じるところの見方も違うという事を参加するたびに感じ、他事業所のケアマネとお話する機会や専門的な視点からのお話を聞ける機会はなかなか持てないのでありがたいと思ったため。また、地域資源については本当に知識不足と感じているため。みんなの保健室や保健師さんに無料相談ができる場所があるという事はインターネットを通じて調べる事は可能だが、高齢者の方には難しいので、その窓口になるのがケアマネジャーであり、どのように知識を広げていくかが悩みどころである。この会議があらたな資源を知る機会になっているのでありがたいと感じている。
- ・日頃、地域資源の活用が少なく利用するとなるとバタバタしてしまう。専門職の方の意見はとても貴重なので勉強になる。多様化になるにつれ、家族とのコミュニケーションが難しい家庭が増え、アプローチにいつも悩んでいるため。
- ・地域連携において顔の見える関係作りが必要と感じているため。
- ・古くから今の地に住んでいる方が多く、地域の関わりに重きを置いている方が複数の機関に関わることでその方らしいライフスタイルの確立になるとなると思ったため。
- ・日々の作業の慣れから、最近では利用者に対して個性のない支援方法をとっていたことに気づき、独自の偏った視点でのプラン作りではなく、利用者一人ひとりのアセスメントにより時間をかけ、ケアマネだけでなく専門職の見解もしっかり踏まえてサービスを提供していくことの大事さを感じましたため。
- ・地域資源については普段の業務の中ではあまり情報として入ってこないもので、自ら情報を収集する必要があると改めて感じたため。
- ・身体機能や意欲の低下をいかに防止し、さらに意欲を向上させるための対応についての考え方をもっと理解できるようにしたいため。
- ・専門職の意見は通常業務や研修でもなかなか学べない事柄が多く、この会議で事例にあった視点を的確に学べると感じたため。また、自分では考えつかない行動変容を促すアプローチ方法を知ることができ、自分自身の知識や知恵としたいと思ったため。
- ・職種が違えばと全く違った視点で事例について考えることができ、自分の予測していなかった話が聞けていつも驚きがあり新しい発見があるため。
- ・自分一人では支援方法が偏りがちなので、他のケアマネの意見や、自分の思いつかないアイデアなどを聞いてみたいと思ったため。

Q 3. 今後自身がケアマネジメントする際に参考にしたい、参考にできそうなことをご記入ください。

- ・すこやか食生活ネットは今後活用していきたい。
- ・利用者の性格やパーソナリティに合わせたサービスの提案や運動プログラム実施について根拠を明確に示すことが意欲の促進に繋がるのだと感じ是非参考にしたいと思った。
- ・事例対象者は概ね他者の手を借りることに抵抗がある方々なので、できる限りその想いに応える為にスマホ等でネットサービスを活用することも視野に入れようと思った。
- ・地域資源は中々生かしきれないので、包括で開催されている交流の場等を活用していきたい。
- ・歩数・食事量・運動時間など客観的な数値を提示して目標を設定していくことを参考にしたい。
- ・透析の方が出やすい症状の緩和方法を参考にしたい。
- ・通常業務の中では地域資源の把握、特にインフォーマルは難しいため、保健所や近隣スーパーでの取り組みを参考にしたい。
- ・ラジオ体操、みんなの保険室等、地域でやっている活動をインフォーマルサービスとして取り入れていきたい。
- ・できなくなったことに注目することが多かったので、本人が今できていることや継続できていることに目を向け、すごいことであることを本人へ伝えたいと思った。
- ・地域資源の一つとして移動販売も活用したい。
- ・GWでの助言でカラオケや新聞などで活字を音読する事が口腔機能の維持として役立つ事を知ったので、新聞等で音読する事を利用者に提案していきたいと思った。
- ・ゲームやチャット等のオンライン上での交流といった、インターネットやSNSが使用できる方へのアプローチ方法を参考にしたい。
- ・すでに頑張っている人に対しての声掛け、話の進め方など、自分の価値観だけではなく、他職種の意見も参考にしてもらえるような話のすすめ方を参考にしたい。
- ・介護保険サービス以外の100歳体操など、地域資源の情報提供も行っていきたい。
- ・何事もポジティブにご本人の自立支援の為に何ができるか考えていきたいと思った。
- ・「わたしのトリセツシート」は積極的に活用したい。
- ・自立への目標に対して、どうしてできないか、どうすればできるかを細かく分析して短期目標を達成可能な目標にし、目標への達成感の持てるプランを作れるようにしたい。
- ・本人、家族の状況や考え方によって効果的な提案も受け入れられないことがあることを今回のモニタリング事例から改めて感じ、アプローチの方法や問題を多角的にとらえる視点を実際のケアマネジメントでも応用・実践してみたいと思った。
- ・日中独居となる方への見守りの方法を参考にしたい。
- ・利用者本人のモチベーションが上げられるような表現は参考になった。また、同じ意味でも表現によってモチベーションが変わってくるので表現には注意していきたいと思った。
- ・一方的な提案ではなく、時間がかかっても本人の気持ちに寄り添い本人が納得したプランを進めていきたいと思った。

Q 4-1. 自立支援・重度化防止に向けたケアマネジメントを行う際に、これまでの自立支援型地域ケア会議に参加して学んだ予防の視点の考え方をプランに取り入れたことがありますか。

	ある	ない	総計
中横西	2	6	8
青木	9	4	13
上青木前川	5	10	15
南平	5	3	8
新郷	2	4	6
神根	3	9	12
芝	4	10	14
安行	5	6	11
戸塚	6	12	18
鳩ヶ谷	3	6	9
総計	44	70	114

Q 4-2. Q4-1で「ある」を選択したかたの取り入れた内容

- ・デイサービスなどの介護保険サービス以外に自宅で行える家事への参加の促進など生活リハビリへの参加を提案し、日常生活の中で行える筋力低下や生活不活発病の防止などをプランに取り入れた。
- ・口腔ケアの重要性について学び、必要時応じて「訪問歯科」を勧めている。
- ・歯科外来受診や訪問歯科診療の活用を取り入れた。
- ・福祉用具活用にあたりリハビリや福祉用具事業所の人からの説明を取り入れ、本人に納得してもらった。
- ・インフォーマル（家族支援等）の視点を計画書に取り入れたり自立支援に向けられる自力で行える能力の取り組みを取り入れた。
- ・専門家からの意見を参考に運動機能の必要性の説明を行ない、予防通所介護をプランに取り入れた。
- ・栄養の重要性を説明し、栄養士の訪問を依頼して栄養マネジメントを行った。
- ・サービス以外のボランティアや地域で実施している活動に参加した。
- ・「どのような対話が本人の意欲を引き出すのか」「どのような支援が行動変容につながるのか」という視点から、単なるサービス調整にとどまらず、本人の気持ちや願いをプランに反映させること。
- ・利用者だけを見るのではなく家族や周りの要因も考えることを学びました。
- ・筋力維持のためにたんぱく質を摂るようアドバイスしたり、デイでのリハビリや口腔についての評価などを取り入れた。
- ・実際に助言者や参加者から得た提案などを利用者やその家族に伝えてケアプランの目標とした。今後は目標達成までの過程をより具体的に本人に対して見出せるようにしていきたい。
- ・たたら荘など地域資源の活用を本人の選択肢に取り入れてもらえるよう勧めるようになった。
- ・プランに反映はできていないが、利用者に栄養面で話をする機会が増えた。単純に「栄養価のある食事をしましょう。」ではなく、具体的な食品名や、その栄養素が身体のどの部分に良いとか具体的に話すようになってきた。